



家計の

節約
レシビ

SE-TSU
YA-KU

ご質問は左ページ下の送り先へ

結婚5年目。通勤族なので現在はマイホームの購入予定はありませんが、いずれは憧れの我が家をと考えています。月々の収入はギリギリ。赤字の月も多く、その分はボーナスから補ってんでいます。悩みの種は夫の小遣い。営業職のため不意の出費も多々あります。また、保険に関して何か見直す点はないでしょうか。

アドバイザーは、税理士・CFP®林 高宏さん(鹿児島市=林高宏税理士事務所所長)

Hさんの家計簿(鹿児島市在住) [夫32歳(会社員)、妻28歳(専業主婦)長女3歳]

収入	
夫	280,000円
児童手当	5,000円
計	285,000円

<支出続き>

日用品	5,000円
車保険	8,000円
夫生命保険	12,000円
妻生命保険	5,000円
学資保険	10,000円
幼稚園保育料	30,000円
外食・レジャー費	5,000円
貯金	30,000円

合計 282,000円
黒字 3,000円

支出	
家賃(駐車場込)	62,000円
食費	25,000円
水道光熱費	15,000円
通信費(携帯電話代含む)	25,000円
夫小遣い	30,000円
医療費	10,000円
ガソリン代	10,000円

ボーナス収支(年間)

●収入	
夫ボーナス	500,000円
●支出	
帰省費	40,000円
冠婚葬祭費	50,000円
家電品購入	100,000円
レジャー・外食費	10,000円
貯金	200,000円

貯蓄残高

夫名義普通預金	300,000円
妻名義普通預金	100,000円
夫名義定期預金	500,000円
妻名義定期預金	200,000円
長女名義貯金	300,000円

A. 仕事で必要なお金は定額払いにして夫自身に管理してもらいましょう

かなりきちんとした家計管理をしてらっしゃいます。赤字の月が多く、ご主人の不意の出費があるにせよ、年間50〜60万円の貯金ができています。また、家電品など高額なものを購入する場合、ボーナスの範囲内で抑えて、ローンを組まないようにしている姿勢も立派です。

ご主人の小遣いが気になるようですが、3万円の定額部分以外も自分で管理させるようにしたらいかがでしょうか。昨年奥さんが追加で払った小遣いが年間10万円程度とのことですので、ご主人の携帯・ガソリン代を合計すると32万円になります。今後は、小遣いの他に毎月2万円、ボーナス時に3万円ずつ支払い、その範囲内で自己管理してもらうのです。足りない場合は、ご主人名義の預金を下ろしてもらうことにし

ましょう。恐らく1年後には2万円以上節約できていくはず。次に、子どもの幼稚園費用をどう捻出するかは確かに大きな問題です。この他に習い事の費用が出てきたり、子どもの成長記録を残すためデジカメやビデオが欲しくなるのが普通なので、こういった予想外の出費がある程度覚悟しておく必要があります。

今後節約の必要性がますます増えますが、節約に特効薬はありません。前年と比べ、突出している部分がないかこまめにチェックし、たとえ1000円でも予算をオーバーしていたら、原因を徹底的に追及するくせをつけるようにしてください。

保険に関しては、夫は保障を、妻は医療保障を重視しており、現時点ではベストのものと思われま